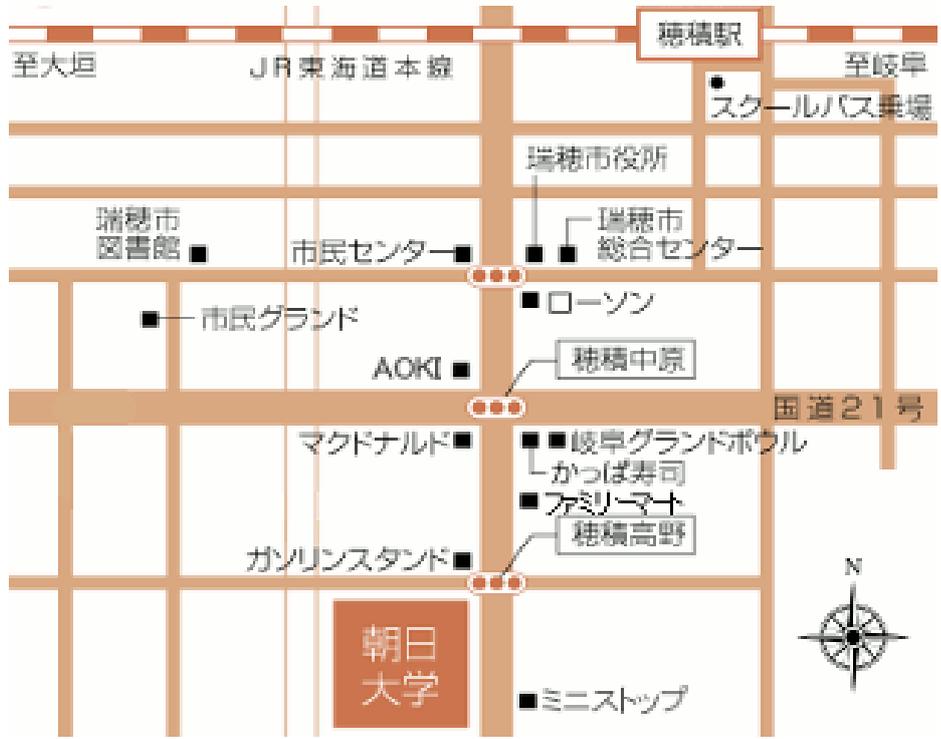


| | | | | | |
|-----------------|--|------|-----|--------|-------|
| 開講学年 | 2 | 入学年度 | 11～ | 対象学科 | 法 |
| 区分 | ○:選択必修(公) 無印:選択(企) | 単位数 | 2 | ナンバリング | LS226 |
| 科目名 | 国際法B | | | | |
| 担当者 | 杉島 正秋 | | | | |
| 講義目的 講義内容 | <p>この講義では、人権保障の分野で国際法が果たしている役割、国家の自国領域（領土・領空・領海など）に対する権利の2つを中心にとりあげます。</p> <p>人権については、まず日本法の基本的特色を復習します。これは国際法上の人権保障に関するルールを国内的に実現するための手続や関連する諸問題が、すべて日本法と関わっているためです。たとえば、憲法をはじめとした国民の権利保障に関するルールと国際的な人権保障がどう関わるのか、日本の裁判所で国際人権保障に関するルールがどう扱われているのか、人権条約の国内実施のため、どのような立法措置がとられているかといった問題です。</p> <p>これをふまえ国際法上の人権保障について、条約ごとに説明してゆきます。</p> <p>領土については、領空と宇宙空間の違い、現在の海洋制度を説明した上で、日本が抱える3つの領土問題（尖閣・竹島・北方領土）をとりあげます。国際法Iと同じように、講義では、私たち市民（庶民？）が国際法とどう関わるのか、という側面を重視しています。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>①日本の法制度の特徴を、国際人権法の国内実施との関連で説明できること。</p> <p>②国際人権法に関連した日本の重要な裁判例について説明できること。</p> <p>③現在の海洋法制度への歴史的な発展過程を知り、特徴について説明できること。</p> <p>④日本の領土問題について主張の対立点を説明できること。</p> | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国憲法と人権の国際的保障 2. 日本の立法制度と条約の締結(国籍法や雇用機会均等法などの整備例) 3. 日本の行政手続と人権の保障(土地収用法、入国管理法など) 4. 日本の裁判制度と人権保障(刑事訴訟法、監獄法など) 5. 国際人権規約と各種の人権条約 6. 日本法と人種差別禁止に関する国際法(民法上の不法行為と関連判例) 7. 人権条約に関する報告制度と日本の対応 8. 自国領域に対する国家の基本的権利 9. 領域取得の方法 10. 領空と宇宙空間 11. 領海制度の成立と現代的展開 12. 大陸棚と排他的経済水域 13. 領土に関する国際判例 14. 日本の領土紛争 15. まとめ | | | | |
| 履修の条件・準備学習・注意事項 | <p>憲法・民法・刑法など法律学の基本科目と、歴史学などの歴史関係科目を履修済みであることを希望します。それぞれの法分野について、指定されたテキスト・講義で配布されたレジュメなどで、受講前におさらいしておいてください。講義資料はメール配信しますので、印刷して講義に持参してください。先に国際法A(国際法I)を履修した方が理解しやすいです。配信するテキストは、講義回ごとに15のパートで編集されていますので、それぞれの講義回について、予習60分、復習30分の自主学習をした上で受講してください。</p> | | | | |
| 成績評価基準方法 | <p>定期試験(50%)、課題(50%)により総合的に評価を行います。</p> <p>出席者には課題を適宜与え、提出したものを評価します。出欠席のみでの評価は行いません。</p> | | | | |
| テキスト | <p>杉原高嶺編『コンサイス条約集』三省堂 自作テキスト(大学から交付されたメールアドレスへ配信)</p> | | | | |
| 参考書 | <p>松井芳郎『国際法から世界を見る』(第3版)東信堂</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

朝日大学「国際法B」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します

| | |
|----------------|---|
| 科目名 | 国際法B |
| 時間割 | 毎週木曜日 2時限目 10時45分開始 12時15分終了 |
| 初回の授業日 | 2017年9月21日(木) |
| 講義室 | 朝日大学穂積キャンパス 6号館 6506講義室 |
| 注意事項 | ・12月27日から翌年1月5日までは、冬季休業期間です。 ・自動車による通学は禁止です。(どうしても必要な場合は、民間駐車場を借りてください。) |
| 授業についての 問合せ | 受講に関するお問合せは、朝日大学学事二課 TEL 058-329-1079 まで |

| | |
|--------|---|
| 地図 |  |
| 交通アクセス | J R穂積駅から大学スクールバス(無料)で約5分 |